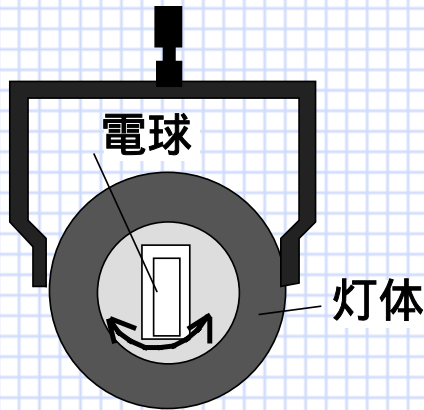


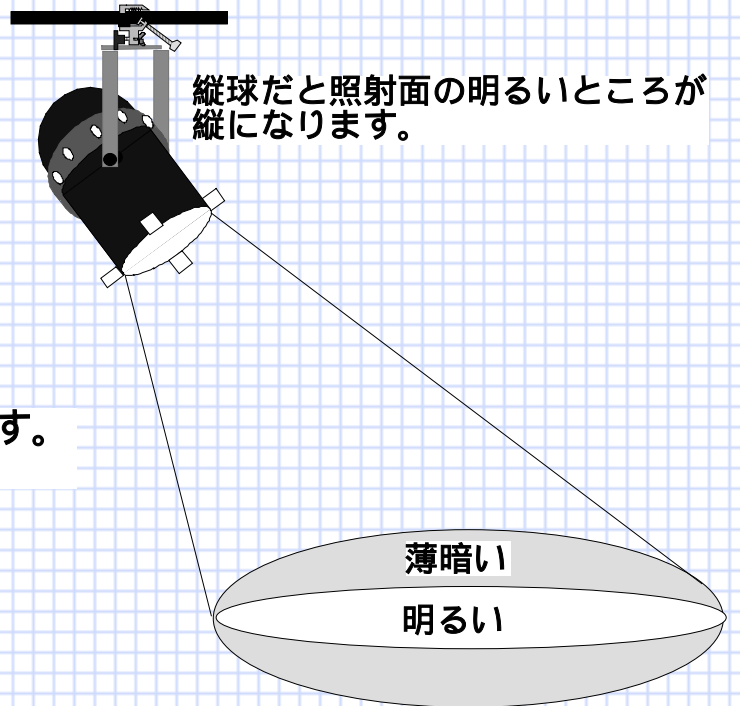
# PARライトの特徴

## ◆ PARライトは次のような特徴があります

PARライトを後ろから見るとAの図のようになり、電球を回転させることができます。PARのいちばん明るいところは楕円形をしています。電球を回転させることで、この明るいところを回転させることができます。明るいところを照らしたいものにあわせて回転させると明るく照らすことができます。



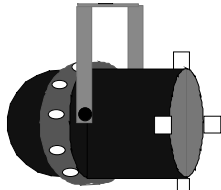
電球を回転させることができます。  
(図は縦球)



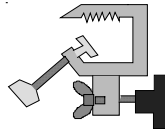
# PARライトの使用

PARライトをセッティングしてみましょう

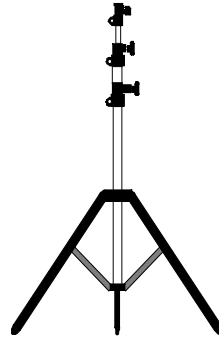
## 使用機材



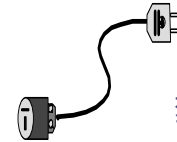
PARライト



ハンガーまたはスタンド



延長ケーブル



変換ケーブル

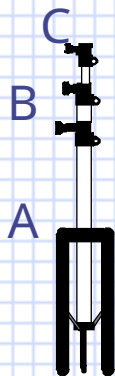
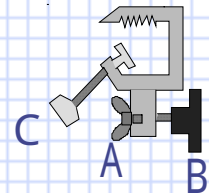
### <ハンガーとスタンドの使い分けについて>

\*ハンガーを使用する場合は会場に吊り込み可能なパイプ（バトン）が必要です。  
スタンドはステージ上に置いて使用する場合に使用します。

\*ハンガーにスポットを取り付けるときは

図A、Bのネジをゆるめてスポットに差込みネジを締めて固定します。

ハンガーに取り付けたスポットをバトン（パイプ）に取り付けるときは図Cのネジをしっかりと締めて固定します。



\*スタンドにスポットを取り付けるときは

Aのネジをゆるめて脚を広げて固定します。

スポットを取り付けるときはCのネジをゆるめて

スポットを差込みネジを締めて固定します。

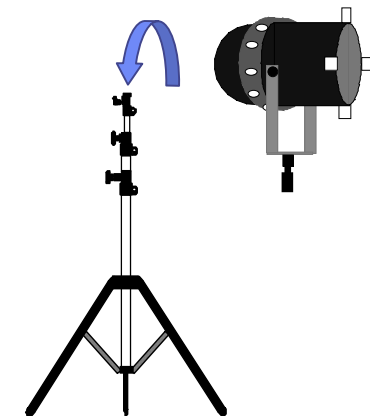
Bのネジをゆるめてスタンドの高さを調整します。

# セッティング方法 (スタンド使用の場合)

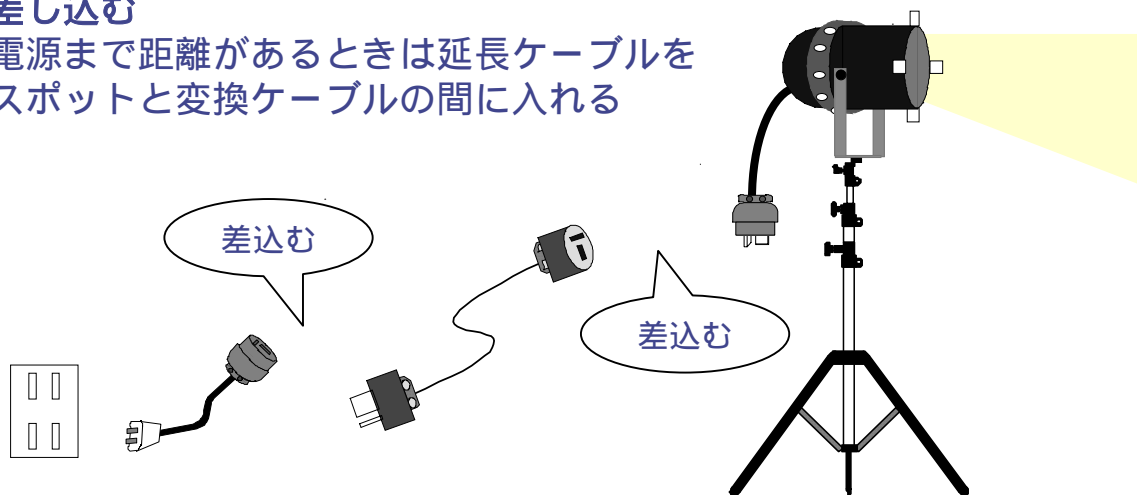
スタンドの足を広げ固定する



スポットを取り付ける



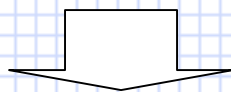
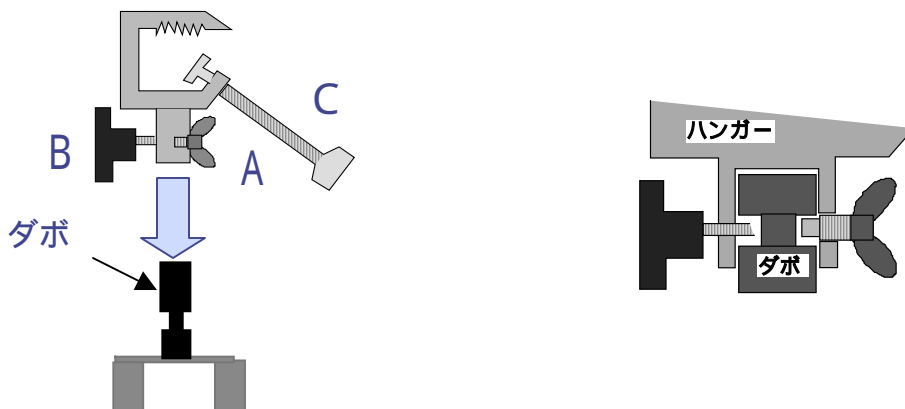
平行-T型変換ケーブルをつなぎ、既設コンセントに平行プラグを差し込む  
電源まで距離があるときは延長ケーブルをスポットと変換ケーブルの間に入れる



# セッティング方法 (ハンガー使用の場合)

## スポットにハンガーを取り付ける

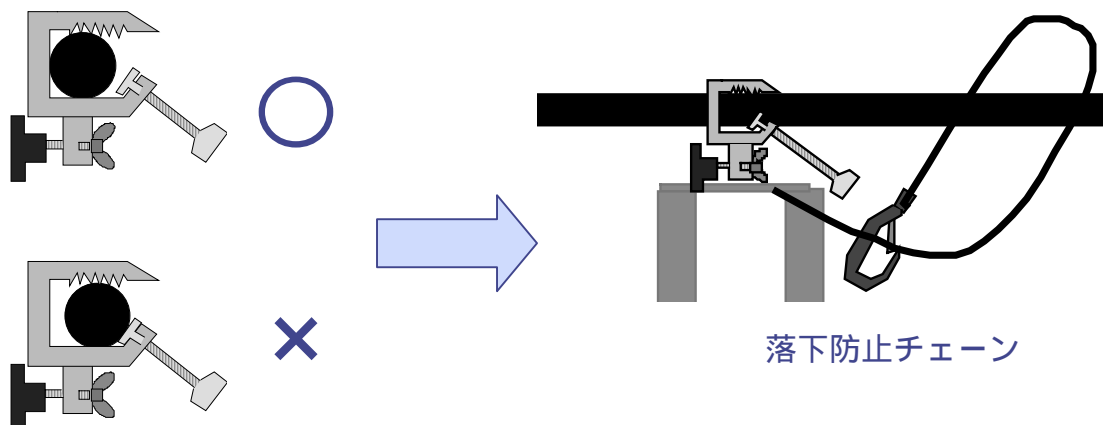
スポットのダボのへこんでいるところにハンガーのA、Bのネジが入るようにします。



## バトン (パイプ) にスポットを吊りこむ

バトンに吊り込むときはハンガーを奥まできちんと入れ、Cのネジをしっかりと締めます。

スポットの落下防止チェーンは必ずバトンにかけて下さい。



## スポットの電源を取る

スポットはT型プラグになっています。バトンに電源コンセントがT型でついていない場合はそのまま差し込めませんが、ほかの型のコンセントの場合変換ケーブルが必要になります。

# フィルターの使用

## ◆ シート枠にフィルター(色)を入れ灯体に取り付けます

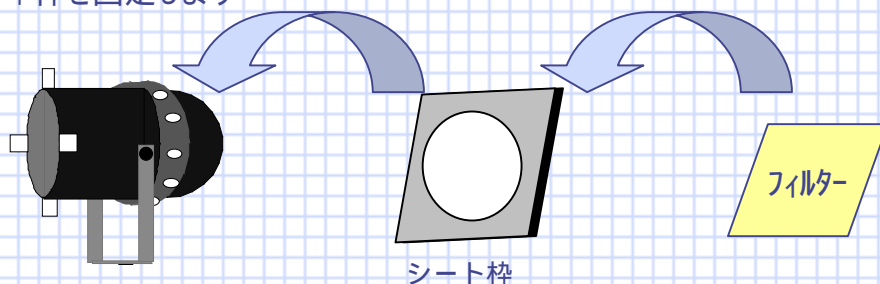
シート枠にフィルターを差し込みます

シート枠をスポットの上から取り付けます

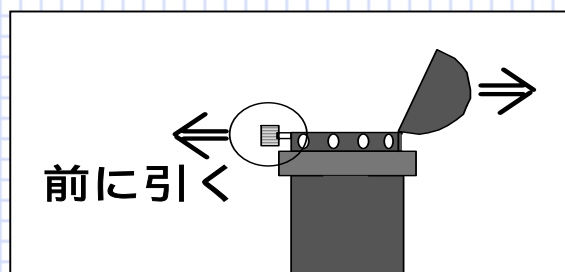
スポットのシート枠ホルダーにはバネがついていてそれがストッパーになります

フィルターストッパーが上部についているタイプのものはストッパーを縦方向にして

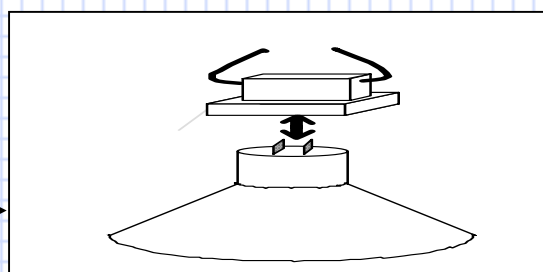
シート枠を固定します



## 電球の交換もしも電球が切れたら



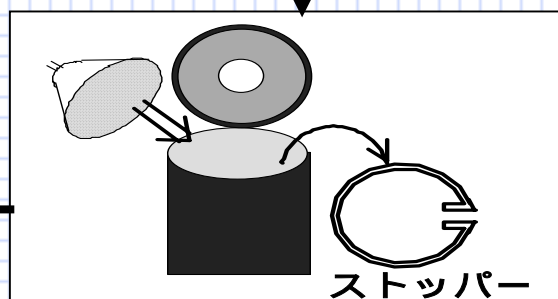
灯体の上ボタンをとめているつまみを前方に引き、上ボタンを開けます。



電球後部に刺さっているコネクタを抜きます。



ストッパーを固定用突起3カ所にはめ込みます。



最後に電球を押えているリング状のストッパーを外し電球を交換します。